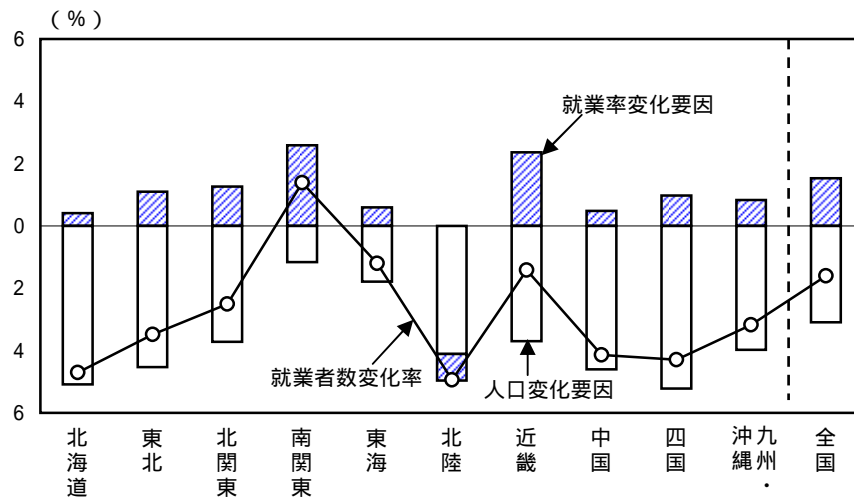


第2 - 2 - 10図 15～59歳就業者数変化率（05～08年）



(備考) 1. 総務省「労働力調査」により作成。

2. 地域区分はC。

3. 05年は年平均、08年は第 Ⅱ 四半期平均。

4. 要因分解は以下による。

就業者数：E、人口：P、就業率：eとしたとき、 $E = e \times P$ より

$$(\text{就業者数前期差}) = E_2 - E_1 = e_2 \times P_2 - e_1 \times P_1$$

両辺をEで除して

$$(\text{就業者数変化率}) = \frac{E_2 - E_1}{E_1} = \left( \frac{e_2}{e_1} - 1 \right) + \left( \frac{P_2}{P_1} - 1 \right) = (\text{就業率変化要因}) + (\text{人口変化要因})$$

5. 労働力状態不詳数は人口に含まない。